

教科 理 科

科目	生物基礎探究	学年・コース	3 学年	共通	コース	単位数	2 単位	区分	選択
学習の目標		2年次の生物基礎の学習をさらに深めることで、自然に対する探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を身につける。さらに、2年次に行えなかった『発展』的な知識を身につける。							
教科書		高校生物基礎 新訂版 (実教出版)							
補助教材等		新課程 ゼミノート生物基礎 (数研出版)							
学期	月	学習内容				学習のねらい			時間
1 学 期	4	第4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地表面を覆う森林や草原の区分法について外観や構造の特徴を理解する。</li> <li>・植生の移り変わり、変化の原動力になる環境要因について理解する。</li> </ul>			6
	5	2節 気候とバイオーム				<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物群落と気候の関係について理解する。</li> <li>・日本の水平、垂直のバイオーム分布についての知見を深める。</li> </ul>			9
	6 7	3節 生態系と物質循環				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球上の生物と環境の関係を知り、生態系のシステムを把握する。</li> </ul>			8
2 学 期	8					<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系内の物質は循環し不変であるのに対して、エネルギーは系内を通過する事を、炭素と窒素の流れから理解する</li> <li>・環境保全について具体的な例を挙げて、身近な環境問題への関心を深める。</li> </ul>			8
	9	4節 生態系のバランスと保全							
	10	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性				<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞の共通性と多様性を認識し、様々な状態の細胞や組織を観察する。</li> </ul>			6
	11 12	2節 細胞とエネルギー				<ul style="list-style-type: none"> <li>・代謝についての理解を深め、酵素の性質をより詳しく理解する。</li> <li>・光合成、好気呼吸の詳しいしくみを理解する。</li> </ul>			8
3 学 期	1	第3章 生物の体内環境とその維持 1節 体内環境				<ul style="list-style-type: none"> <li>・体内環境の恒常性を維持するために働く、体液・自律神経・ホルモンについて、より深く理解する。</li> </ul>			8
		2節 体内環境の維持のしくみ							9
		3節 免疫							8

評価の観点	知識・技能	生物基礎で学ぶことができなかった発展的な知識を身につけることができたか。また、ヒトも含めた生態系の成り立ちについて理解を深めることができたか。実験方法を学び、正しく操作することができたか。
	思考・判断・表現	実験結果やグラフ・データをもとに自分で考察を行うことができたか。
	主体的に学習に取り組む態度	自然に対する探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を身につけることができたか。